

【大学間協定留学】 留学報告書

| 記入日 | 2025年3月13日 |
|--|---|
| 明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等 | 国際日本学部・国際日本学科 |
| 留学(渡航)した時の学年 | 2年生 |
| 帰国年月日 | 2025年2月18日 |
| 明治大学卒業予定年月 | 2027年3月 |
| 留学先大学について | |
| 留学先国 | オーストリア |
| 留学先大学 | ウィーン大学(日本語名) Universität Wien(現地言語名) |
| 現地使用言語/ 授業使用言語 | ドイツ語/英語 |
| 留学期間 | 2024年8月～2025年2月 |
| 留学先大学で在籍した学年 | 2年生 |
| 留学先の所属学部等 | <input type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: 音楽学 現地言語での名称: Musikwissenschaft <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input checked="" type="checkbox"/> その他: 特定の学部にも所属しつつ、他学部の授業も履修した。 |
| 形態 | <input checked="" type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他: |
| 学年暦 ※記入例: 1 学期: 4月上旬～7月下旬 2 学期: 9月中旬～2月上旬 | 1 学期: 10月1日～1月31日 2 学期: ~ 3 学期: ~ 4 学期: ~ |
| 学生数 | 約 85,200 |
| 創立年 | 1365年 |

| 留学費用 | | | |
|-------------------|--|--------------|--|
| 留学費用項目 | A 現地通貨 (ユーロ) (1 現地通貨 = 160 円) | B 日本円 | 備考 |
| 授業料 | 24.70(semester fee のみ) | 約 4 千円 | |
| 宿舍費 | 2,775€(555€×5ヶ 月) | 約 50 万円 | |
| 食費 | 約 3,000€(500€×5.5 ヶ月) | 約 50 万円 | |
| 図書費 | | 円 | |
| 学用品費 | | 円 | |
| 携帯・インターネット費 | 60€(10€×6ヶ月) | 約 1 万円 | |
| 現地交通費 | 75€(1 semester ticket) | 約 1 万 2 千円 | (<input type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車) |
| 教養娯楽費 | 200€(オペラなど) | 約 3 万 5 千円 | |
| 旅費(留学中) | 1,000€(ヨーロッパ約 5 カ国) | 約 15 万円 | |
| 被服費 | | 円 | |
| 医療費 | | 円 | |
| 保険費 | | 円 | 形態: |
| 渡航旅費 | 約 2,000€(往復) | 約 30 万円 | |
| ビザ申請費 | | 円 | |
| 雑費 | | 円 | |
| その他 | | 円 | |
| その他 | | 円 | |
| 合計 ※現地通貨 および 円 | 約 150 万 (=円) | 円 | |
| 総計(A+B) ※円 | | 約 150 万 円 | |

※現地通貨で支払ったものは「A 現地通貨」の欄に、日本円で支払ったものは「B 日本円」の欄に記入し、総計も記入してください。

※現地通貨名、現地通貨と円の為替レートも必ず記入してください。

渡航関連

渡航経路

往路 出発地：東京 目的地：ウィーン 経由地：ドバイ

復路 出発地：ロンドン(旅行) 目的地：東京 経由地：ドバイ

渡航費用

① 往復チケットを購入した場合

航空会社：

料金：

② 片道ずつチケットを購入した場合

往路 航空会社：エミレーツ 料金：19万

復路 航空会社：エミレーツ 料金：10万 ∴合計：29万

航空券購入方法

旅行代理店(店名：)

インターネット(サイト名：公式アプリ)

その他()

滞在形態関連

1) 種類(留学中の滞在先)(例：アパート、大学の宿舎等)

学生寮(寮の名前：Green House) アパート ホームステイ

2) 部屋の形態

個室 相部屋(同居人数 4)

3) 共有部分

バス トイレ キッチン(自炊可 自炊不可)

4) 住居を探した方法：

OEAD というサイトから予約した。

5) 感想：(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

OEAD は周りの留学生も使っていて、返信が早くておすすめ。

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

なし

あり (治療を受けた場所: 薬局の薬)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

なし

あり (問題の内容や相談した人等:)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

現地の人に危ない場所を聞いておく。ウィーンは比較的治安が良かったが、ヨーロッパ旅行に行く際はボディバッグやリュックでないカバンが必須。

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWIFI接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

現地の人に教えてもらった educom という格安の eSIM を使っていた。ドイツ語なので注意。EU を出る際はお金がかかるので注意。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

現地の Austrian bank を開設して、日本から送ってもらったお金を入れていた。

6) 現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えて下さい。

自炊のための調味料(醤油やごま油など)、現地で買うと3倍近い値段になるので注意。

日本からのお土産(抹茶のキットカットなど)。

海外対応のヘアドライヤーとハンガーと靴下ハンガーと洗濯物干し紐。(寮にはないことがほとんど)

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

| | | |
|--|---|--|
| 1) 留学先で取得した単位数合計 | | 本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。 |
| 24etcs 単位 | | <input checked="" type="checkbox"/> 14 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:) |
| 2) 履修登録の時期・方法及び履修制限 | | |
| <input type="checkbox"/> 出発前 <input checked="" type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> 履修の制限があった: | | |
| 3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人々へのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。 | | |
| 履修した授業科目名(留学先大学言語) | | 履修した授業科目名(日本語) |
| September-Intensivkurs Deutsch am Campus | | 9 月集中ドイツ語講座 |
| 科目設置学部・研究科 | Sprachenzentrum(言語センター) | |
| 履修期間 | 3 週間 | |
| 単位数 | 4etcs | |
| 本学での単位認定状況 | 1 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい) | |
| 授業形態 | 対面 (チュートリアル、講義形式等) | |
| 授業時間数 | 1 週間に 225 分が 5 回 | |
| 担当教授 | Eva Huml | |
| 授業内容 | 自分のレベルのドイツ語クラスで 3 週間みっちりドイツ語クラスを受ける。 | |
| 試験・課題等 | 毎日多量の課題が出る。最後に 4 技能のテストを受ける。 | |
| 感想を自由記入 | 私はドイツ語を元々やっていたわけではなかったので、このコースを取ったおかげでドイツ語で買い物や注文、コミュニケーションの基礎ができるようになったため、受けることを強くおすすめします。ドイツ語 0 では生活は厳しいです。 | |

| 履修した授業科目名(留学先大学言語) | 履修した授業科目名(日本語) |
|------------------------|---|
| Music, Race and Racism | 音楽、人種、人種差別 |
| 科目設置学部・研究科 | 音楽学部 |
| 履修期間 | 1 学期 |
| 単位数 | 6etcs |
| 本学での単位認定状況 | 4 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい) |
| 授業形態 | 対面(チュートリアル、講義形式等) |
| 授業時間数 | 1 週間に 90 分が 1 回 |
| 担当教授 | Rodrigo Chocano Paredes |
| 授業内容 | 指定された論文を事前に読み、教授の講義を受ける。ディスカッションを行う。 |
| 試験・課題等 | 一つの論文についてスライドをまとめてみんなの前で発表する。 学期末に 12 ページの自由レポートをかく。 |
| 感想を自由記入 | 扱っている論文自体は難しいが、内容が理解できれば意見を言えると思う。 周りが積極的なので負けずに意見を沢山いう事が大事。 |

| 履修した授業科目名(留学先大学言語) | 履修した授業科目名(日本語) |
|---|--|
| Nature and Landscape in Schubert's Time | シューベルトの時代の自然と風景 |
| 科目設置学部・研究科 | 音楽学 |
| 履修期間 | 1 学期 |
| 単位数 | 5etcs |
| 本学での単位認定状況 | 2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい) |
| 授業形態 | 対面(チュートリアル、講義形式等) |
| 授業時間数 | 1 週間に 90 分が 1 回 |
| 担当教授 | Mark Brooks |
| 授業内容 | シューベルトの時代における音楽的な背景について書かれた論文を事前に読み、教授の講義を受ける。ディスカッションを行う。 |
| 試験・課題等 | カンファレンスに参加、最終レポート(3000 字)を提出。 |
| 感想を自由記入 | 上記の科目と同じく、扱う論文自体は難しかったと感じたが、その論文理解すれば講義は理解できる。周りの生徒が熱心だった。 |

| 履修した授業科目名(留学先大学言語) | 履修した授業科目名(日本語) |
|-------------------------|---|
| Maschinelle Translation | 機械翻訳 |
| 科目設置学部・研究科 | 翻訳学部 |
| 履修期間 | 1 学期 |
| 単位数 | 4etcs |
| 本学での単位認定状況 | 2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい) |
| 授業形態 | 対面(チュートリアル、講義形式等) |
| 授業時間数 | 1 週間に 90 分が 1 回 |
| 担当教授 | Nikolaus Ritt |
| 授業内容 | 機会翻訳のシステムや構造について講義を通して学ぶ。 |
| 試験・課題等 | 学期末試験のみ。 |
| 感想を自由記入 | 内容は数学的で、英語ということもありかなり難しいと感じたが、テストが選択問題だったので乗り切れた。理解するだけで多くの時間を費やした。 |

| 履修した授業科目名(留学先大学言語) | 履修した授業科目名(日本語) |
|---|--|
| Text und Kommunikation schriftlich und mundlich Englisch | 英語の文章とコミュニケーション |
| 科目設置学部・研究科 | 翻訳学部 |
| 履修期間 | 1 学期 |
| 単位数 | 5etcs |
| 本学での単位認定状況 | 2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい) |
| 授業形態 | 対面(チュートリアル、講義形式等) |
| 授業時間数 | 1 週間に 90 分が 1 回 |
| 担当教授 | Lisa Carina Berger |
| 授業内容 | 様々な場面での英語の正しい使い方や単語、言い方の使い分けなど。 |
| 試験・課題等 | 中間レポートと期末試験。 |
| 感想を自由記入 | 意見を出し合う場面も多くあり、周りの学生が積極的なので自分も積極的になれた。発表の機会もあり楽しかった。 |

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記2以降は記入不要)

就職 進学 未定 その他:

1) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等

現在就職活動中

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。
(例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。)
就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。
ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。
就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

留学経験を通して特に就職活動に対する意識の特別な変化はないが、新卒を重視しない人なら就職活動のことを気にせずいつからでも留学に来るべきだと感じた。なぜなら、ワーホリなど別の機会に来るよりも「学生」という肩書きは強いからだ。特にヨーロッパの非英語圏では、ローカル言語が分からないと生活できない場所がほとんどで、英語を使いつつ非英語圏に留学できる機会は大学の交換留学が一番適していると感じた。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先確保、留学中の中間試験・期末試験、その他イベント等)

| | | |
|--------------|---------|--------------|
| 留学開始年の 前年 | 1月～3月 | |
| | 4月～7月 | |
| | 8月～9月 | TOEFL 最終受験 |
| | 10月～12月 | 出願 |
| 留学開始年 | 1月～3月 | 留学先決定 |
| | 4月～7月 | 寮決め、手続き、確認など |
| | 8月～9月 | 準備、渡航 |
| | 10月～12月 | 留学 |
| 留学/帰国年 | 1月～3月 | 留学、帰国、帰国報告書 |
| | 4月～7月 | 就職活動開始 |
| | 8月～9月 | |
| | 10月～12月 | |

留学を志す学生へのアドバイス

※ これから留学を志す学生へ、この留学先国・大学を選んだ理由、留学生活全般等について、アドバイスを記入してください。

<言語について>

私は一回英語圏へ短期留学の経験があったので、英語を第二言語として話す国に留学に行きたいと決めていました。ウィーンの人には英語をわかってくれるだろうと思い、ドイツ語を Duolingo の勉強程度であまり勉強せずに渡航しました。ですがローカル言語は私が思っていたよりもはるかに強く、初めはドイツ語が分からず日常生活がとてもストレスでした。しかし自分がドイツ語の単語だけでも話すと現地の人には理解しようとしてくれ、だんだんそのストレスが減っていきました。留学生同士だと英語なのでドイツ語は不要ですが、現地の友達や大人と関わる機会をいただいたり、買い物やレストランなどではやはりドイツ語がないと生きていけないし、何よりももっと楽しめると思います。

この価値観はドイツ語の言語自体の強さもあると思いますが、ウィーンには英語話者にあまり優しくない人もいたので、言語の基礎がわかるだけで大分違うと感じました。

これから非英語圏に留学を考えている人は、スーパーで買い物ができるくらいにしておくのと、ストレスが少ないと思います。

<コミュニケーションについて>

私は現地の乗馬クラブに通いたかったため、言語の壁を乗り越えてコミュニケーションを取る必要がありましたが、自分の英語とつたないドイツ語でも楽しく通うことができました。何か新しいことに挑戦したい気持ちがあったら、とりあえず躊躇せずやってみるといいと思います。

また、私はルームメイトが欲しかったのでシェアを選びましたが、ルームメイトととても仲良くなることができ本当によかったですと思っています。ですがルームメイトがうるさくてストレスを抱えている人もいました。

言語の壁は多少なりともありますが、ウィーンは素晴らしい街で、バロックの美しい建物が連なり街を馬車が歩いていたりと、とても魅力的で、政府も外観を守るのに多額のお金を使っていると聞きました。

そんなウィーンの街はバレエやオペラなど、芸術が好きな人にはぴったりの街だと思います。